

OPTIMIZE

MERCURY FUNCTIONAL TESTING™ CONCURRENT LICENSE SERVER
VERSION 9.0

コンカレント・ライセンス・サーバ・インストール・ガイド

MERCURY™
BUSINESS TECHNOLOGY OPTIMIZATION

Mercury 機能テスト コンカレント・ライセンス・サーバ インストール・ガイド

Version 9.0

MERCURY™

Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ・インストール・ガイド, Version 9.0

本マニュアル、付属するソフトウェアおよびその他の文書の著作権は、米国および国際著作権法によって保護されており、それらに付随する使用契約書の内容に則する範囲内で使用できます。Mercury Interactive Corporation のソフトウェア、その他の製品およびサービスの機能は次の 1 つまたはそれ以上の特許に記述があります。米国特許番号 5,511,185; 5,657,438; 5,701,139; 5,870,559; 5,958,008; 5,974,572; 6,137,782; 6,138,157; 6,144,962; 6,205,122; 6,237,006; 6,341,310; 6,360,332; 6,449,739; 6,470,383; 6,477,483; 6,549,944; 6,560,564; 6,564,342; 6,587,969; 6,631,408; 6,631,411; 6,633,912; 6,694,288; 6,738,813; 6,738,933; 6,754,701; 6,792,460 および 6,810,494。オーストラリア特許番号 763468 および 762554。その他の特許は米国およびその他の国で申請中です。権利はすべて弊社に帰属します。

Mercury, Mercury Interactive, Mercury のロゴ, Mercury Interactive のロゴ, LoadRunner, WinRunner, SiteScope および TestDirector は、Mercury Interactive Corporation の商標であり、特定の司法管轄内において登録されている場合があります。上記の一覧に含まれていない商標についても、Mercury が当該商標の知的所有権を放棄するものではありません。

その他の企業名、ブランド名、製品名の商標および登録商標は、各所有者に帰属します。Mercury は、どの商標がどの企業または組織の所有に属するかを明記する責任を負いません。

Mercury Interactive Corporation
379 North Whisman Road
Mountain View, CA 94043
Tel: (650) 603-5200
Toll Free: (800) TEST-911
Customer Support: (877) TEST-HLP
Fax: (650) 603-5300

© 1992 - 2006 Mercury Interactive Corporation, All rights reserved

本書に関するご意見、ご要望は documentation@mercury.com まで電子メールにてお送りください。

目次

第 1 章	インストールの前に	1
第 2 章	コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ	3
	コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または WinRunner のセットアップ	4
	コンカレント・ライセンス・サーバの更新	6
	コンカレント・ライセンス・サーバのインストール.....	8
	コンカレント・ライセンス・キーの申請.....	17
	コンカレント・ライセンス・キーのインストール	20
第 3 章	コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒント	27
	一般的なヒント	27
	コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動.....	28
	ロッキング・コード	29
	既知の問題とその解決法.....	30
第 4 章	ライセンス・サーバのエラー・コード	33
	エラー 5：ライセンス・マネージャと通信できません。 「LocalHost」サーバが稼動していません。.....	33
	エラー 19：ライセンス・コードをインストールできません。.....	34
第 5 章	コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ	37
	概要	38
	現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示	43
	ライセンス・サーバの表示	43
	ライセンス・サーバの監視	44
	LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定	46
第 6 章	コンカレント・ライセンス・サーバのアンインストール	49

第 1 章

インストールの前に

QuickTest Professional, QuickTest Professional アドイン, WinRunner および WinRunner アドインのための Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバへようこそ。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするために必要な最小限のシステム構成は次のとおりです。

コンピュータ/プロセッサ Pentium III 550 MHz 以上のマイクロプロセッサ搭載の IBM-PC またはその互換機。

オペレーティング・システム Windows 98/ME/NT/2000/XP/2003

メモリ 32 MB 以上の RAM (128 MB を推奨)

ハードディスクの空き容量 10 MB のディスクの空き容量

アクセサリ 2x の CD ROM ドライブ

プロトコル TCP/IP

第1章・インストールの前に

第 2 章

コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

QuickTest と WinRunner には、シート・ライセンスとコンカレント・ライセンスの 2 種類のライセンスがあります。Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバは、QuickTest バージョン 6.0 以降、QuickTest アドイン・バージョン 6.5 以降、WinRunner バージョン 7.01 以降、および WinRunner アドイン・バージョン 7.6 以降でのコンカレント・ライセンスをサポートします。

バージョンが 8.2.x 以降の QuickTest または WinRunner を使用している場合、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのバージョン 9.0 を使用する必要があります。

本書では、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバとコンカレント・ライセンス・キーのインストールについて知っておくべきことをすべて解説します。登録ユーザ・ライセンスのインストールの詳細については、『**QuickTest Professional インストール・ガイド**』または『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。どちらのライセンスをインストールすればよいかわからない場合は、関連する製品の『インストール・ガイド』を参照するか、システム管理者またはお近くの Mercury の営業担当にお問い合わせください。

また、コンカレント・ライセンス・オプションを使って QuickTest または WinRunner を実行する各コンピュータに、QuickTest または WinRunner クライアントをインストールする必要があります。コンカレント・ライセンスをインストールすれば、任意の数のコンピュータに QuickTest または WinRunner をインストールできます。ただし、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバは、コンカレント・ライセンス・キーに基づいて、同時実行できる QuickTest または WinRunner、あるいはその両方のコピーの数を制限します。

同時に実行できる QuickTest または WinRunner の数を増やすには、Mercury から QuickTest または WinRunner の追加ライセンスを購入します。QuickTest コンカレント・ライセンス・サーバに QuickTest または WinRunner から接続するには、コンカレント・ライセンス・サーバに有効なライセンス・キーをインストールする必要があります。Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバでは、デモ・ライセンス・オプションを使用できません。WinRunner クライアントのインストールの詳細については、『**QuickTest Professional インストール・ガイド**』または『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または WinRunner のセットアップ
- ▶ コンカレント・ライセンス・サーバの更新
- ▶ コンカレント・ライセンス・サーバのインストール
- ▶ コンカレント・ライセンス・キーの申請
- ▶ コンカレント・ライセンス・キーのインストール

コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または WinRunner のセットアップ

コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または WinRunner を実行するコンピュータは、常にコンカレント・ライセンス・サーバにアクセスしている必要があります。本節では、コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または WinRunner をセットアップする手順についてまとめます。

注：

Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバは、QuickTest バージョン 6.0 以降および WinRunner バージョン 7.01 以降でのコンカレント・ライセンスをサポートします。WinRunner 7.0 (または 7.0 以前) は、WinRunner フローティング・ライセンス・サーバでのみサポートされています。したがって、QuickTest または WinRunner のバージョン 7.01 以降および WinRunner 7.0 以降を使って作業したい場合には、それぞれのライセンス・サーバを、それぞれのコンピュータにインストールする必要があります。

出張に携帯するラップトップ・コンピュータのように、コンカレント・ライセンス・サーバに一時的にアクセスできなくなるコンピュータには、**コンピュータ・ライセンス**機能を使用できます。コンピュータ・ライセンス機能は、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのバージョン 7.6 以降で使用できます。コンカレント・ライセンス・サーバの以前のバージョンのライセンス・キーをお持ちの場合は、Mercury のカスタマー・サポートに新しい Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・キーを申請してください。詳細については、『**QuickTest Professional インストール・ガイド**』または『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。

コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または WinRunner をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバをネットワーク・コンピュータにインストールします。詳細については、8 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」を参照してください。
- 2 コンカレント・ライセンス・キーを申請します。詳細については、17 ページ「コンカレント・ライセンス・キーの申請」を参照してください。
- 3 Mercury からコンカレント・ライセンス・キーを受け取ったら、キーを入力してライセンスをインストールします。詳細については、20 ページ「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」を参照してください。

- 4 QuickTest または WinRunner を実行する各コンピュータで QuickTest または WinRunner セットアップ・プログラムを実行します。[ライセンスの種類] 画面で [コンカレント ライセンス] を選択します。詳細については、『QuickTest Professional インストール・ガイド』または『WinRunner インストール・ガイド』を参照してください。
- 5 QuickTest または WinRunner の使用を開始します。QuickTest または WinRunner は起動されると自動的にライセンス・サーバを探し、それに接続します。

注：お使いの QuickTest または WinRunner クライアント・コンピュータでライセンス・サーバを見つけられず、接続できない場合には、LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定が必要になることがあります。詳細については、46 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」を参照してください。

コンカレント・ライセンス・サーバの更新

ネットワーク・コンピュータに以前のバージョンのコンカレント・ライセンスがインストールされている場合は、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ 9.0 に更新できます。

Windows NT 4.0, 2000, または XP 上でライセンス・サーバをアップグレードする場合、管理者権限が必要です。

コンカレント・ライセンス・サーバを更新するには、次の手順を実行します。

- 1 Sentinel LM Service を手動で停止します。クラシック表示の場合は、[スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。カテゴリ表示の場合は、[スタート] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスで「Sentinel LM」を右クリックし、[停止] を選択します。

- 2 **Iservrc** ファイルのバックアップを保存します。**Iservrc** ファイルは、Sentinel LM サーバが現在インストールされているフォルダ（例：
C:\Program Files\Rainbow Technologies\SentinelLM 7.3.0 Server\English\Iservrc）
または、**Iservrc** 環境変数に指定されている場所にあります。

ヒント：**Iservrc** 環境変数のパスを確認するには、[マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブを選択して、[環境変数] をクリックします。パスは、[環境変数] ウィンドウの [<ユーザ名> のユーザー環境変数] / [システム環境変数] ボックスにパスが表示されます。たとえば、
C:\Program Files\Common Files\Mercury Interactive\License Manager\Iservrc。

- 3 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバをライセンス・サーバ・コンピュータにインストールします。ライセンス・サーバのインストールによって、ライセンス・サーバを新しいバージョンにアップグレードします。詳細については、8 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」を参照してください。
- 4 インストール後、QuickTest がインストールされているかどうかに応じて、バックアップをとった **Iservrc** ファイルを以下の場所にコピーします。
 - ▶ QuickTest がインストールされている場合、**Iservrc** 環境変数に指定されている場所にファイルをコピーします。

ヒント：**Iservrc** 環境変数のパスを確認するには、[マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブを選択して、[環境変数] をクリックします。[環境変数] ウィンドウの [<ユーザ名> のユーザー環境変数] / [システム環境変数] ボックスにパスが表示されます。たとえば、
C:\Program Files\Common Files\Mercury Interactive\License Manager\Iservrc。

- ▶ QuickTest がインストールされていない場合、**Iservnt.exe** ファイルと同じフォルダに **Iservrc** ファイルをコピーします。たとえば、C:\Program Files\Common Files\SafeNet Sentinel\Sentinel LM Server\WinNT\Iservnt.exe。

ヒント：**lservnt.exe** の場所を確認するには、クラシック表示の場合は [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択し、カテゴリ表示の場合は [スタート] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスで「**Sentinel LM**」を右クリックし、[**プロパティ**] を選択します。**lservnt.exe** のパスは、[**実行ファイルのパス**] ボックスに表示されます。

コンカレント・ライセンス・サーバのインストール

本節では、コンピュータへのコンカレント・ライセンス・サーバのインストール方法について説明します。

注：コンピュータに以前のバージョンのコンカレント・ライセンスがすでにインストールされていて、最新のバージョンに更新したい場合は、決まった手順に従う必要があります。詳細については、6 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバの更新」を参照してください。

ライセンス・サーバは Windows NT 4.0 または 2000, XP, または 2003 が稼動しているコンピュータにインストールすることをお勧めします。ライセンス・サーバを Windows NT 4.0, 2000, XP, または 2003 上にインストールする場合は、管理者権限が必要です。

ライセンス・サーバは TCP/IP がインストールされているコンピュータにインストールする必要があります。TCP/IP がインストール済みで正しく機能していることを確認するには、ライセンス・サーバをインストールするコンピュータがネットワーク上の別のコンピュータから識別できることを確認します。別のコンピュータで [スタート] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。[名前] ボックスの中に「ping <ライセンス・サーバをインストールするコンピュータの名前>」を入力します。[OK] をクリックします。1 台目のコンピュータでネットワーク上の 2 台目のコンピュータが識別されると、MS-DOS ウィンドウが開き、4 つの成功メッセージが表示されます。1 台目のコンピュータでネットワーク上の 2 台目のコンピュータが識別されなければ、MS-DOS ウィンドウは開きますが、成功メッセージは表示されません。

インストールしたコンカレント・ライセンス・サーバは、QuickTest または WinRunner を使用する際には常に稼動している必要があります。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テストング・コンカレント・ライセンス・サーバの CD-ROM をインストールに使うドライブに挿入します。CD-ROM ドライブが、ローカル・コンピュータにある場合は、[Mercury 機能テストング・ライセンス サーバのインストール] ウィンドウが開きます。ネットワーク・ドライブからインストールする場合は、ネットワーク・ドライブに接続し、**autorun.exe** を実行します。

MERCURY™

機能テストング

コンカレント ライセンス サーバ

コンカレント ライセンスで QuickTest および WinRunner をご使用になる前に次の操作を行ってください。

- ライセンス サーバを、QuickTest と WinRunner がインストールされているすべてのコンピュータからアクセス可能なネットワーク コンピュータにインストールします。
- コンカレント ライセンスを、ライセンス サーバにのみインストールします（他のコンピュータにはインストールしません）。

警告：シート ライセンスを使用する場合は、この CD を使用しないでください。製品とシート ライセンスをインストールするお手持ちの QuickTest または WinRunner の CD を使用してください。

Mercury 機能テストング コンカレント ライセンス サーバのインストール

機能テストング製品のためのネットワーク ライセンス サーバをインストールします。以前のバージョンのコンカレント ライセンス サーバからアップグレードを行う場合は、インストールを行う前に Sentinel LM サービスを手動で停止してください。

コンカレント ライセンスのインストール

コンカレント ライセンスを Mercury 機能テストング コンカレント ライセンス サーバにインストールします。

インストール ガイドを開く

Mercury 機能テストング コンカレント ライセンス サーバ インストール ガイドを Adobe® Portable Document Format (PDF) で開きます。
(Adobe® Reader® のダウンロード)

終了

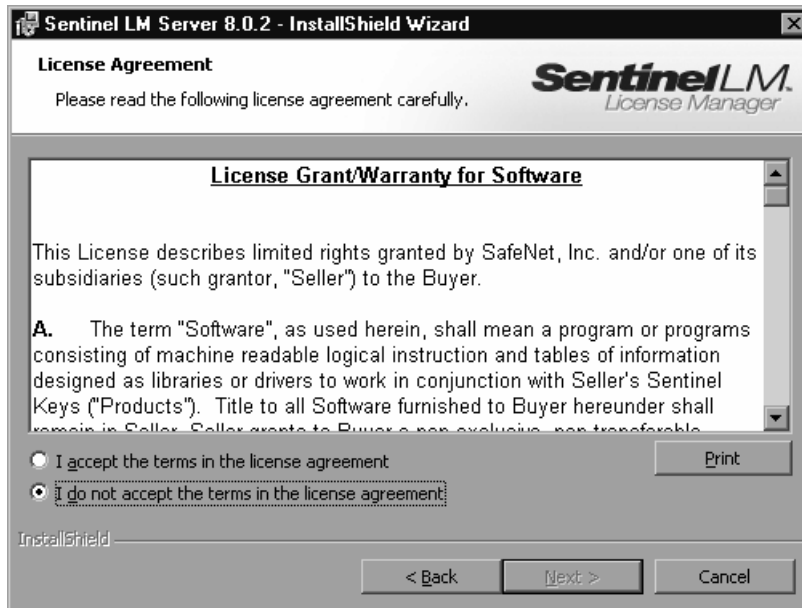
注：オペレーティング・システムによっては、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするのに管理者権限でログインしている必要があります。

- 2 [Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバのインストール] をクリックします。

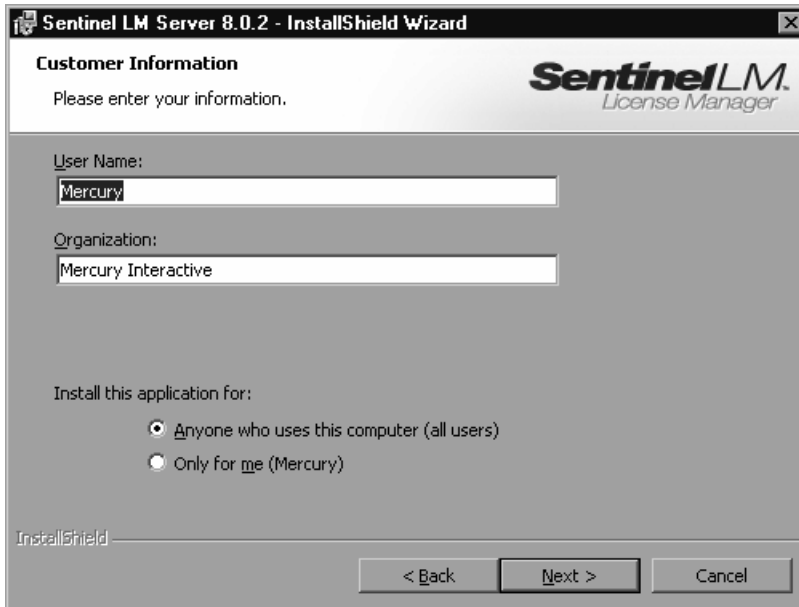
Sentinel LM サーバのセットアップ・プログラムが起動し、Sentinel LM の [Welcome] 画面が表示されます。



- 3 [Next] をクリックします。Sentinel LM の [License Agreement] 画面が表示されます。



- 4 [I accept the terms in the license agreement] を選択して、[Next] をクリックしてライセンス契約の条件に同意し、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバをインストールします（[I do not accept the terms in the license agreement] を選択すると、インストールを続行できません）。[Customer Information] 画面が開きます。



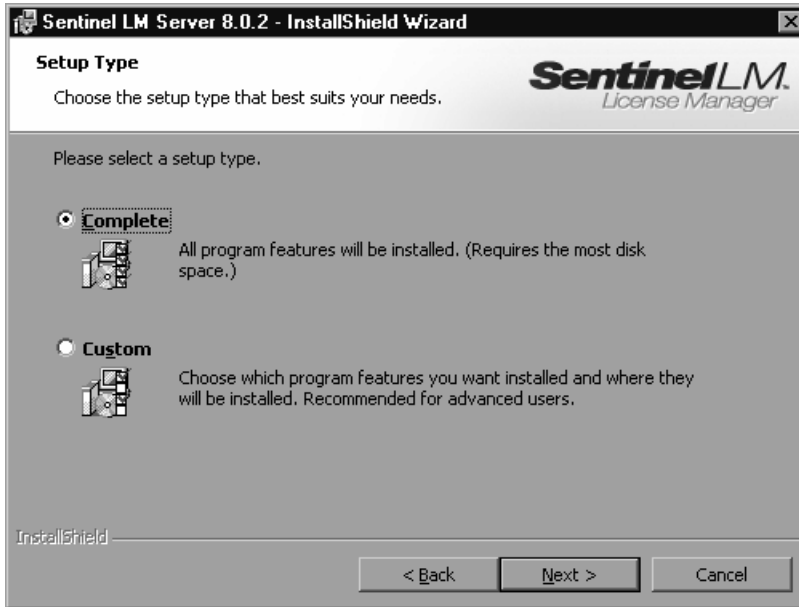
- 5 名前と組織名を入力し、コンピュータのすべてのユーザにアプリケーションをインストールするか、現在のユーザにのみインストールするかを選択します。[Next] をクリックします。[Destination Folder] 画面が開きます。

- 6 [Destination Folder] は、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのインストール先フォルダを指定します。



[Next] をクリックして続行します。[Setup Type] 画面が開きます。

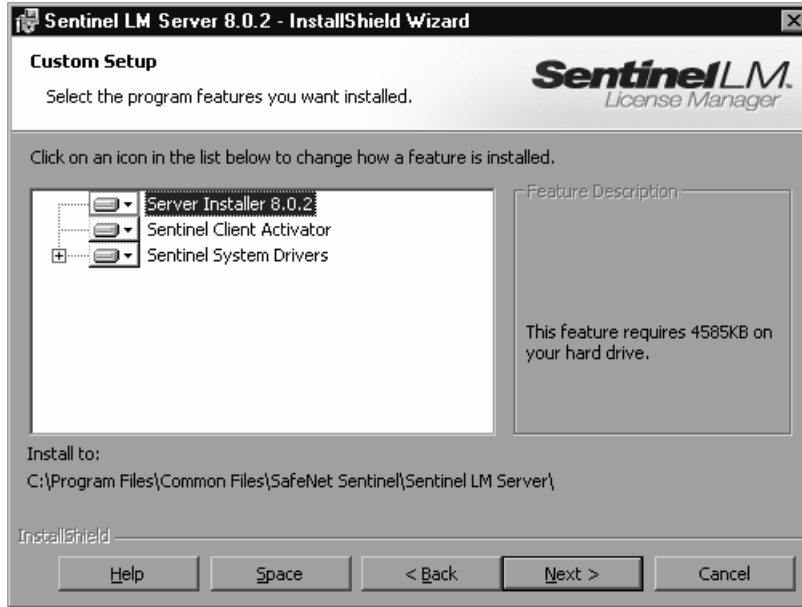
7 [Setup Type] 画面で [Complete] または [Custom] インストールを選択します。



[Next] をクリックして続行します。[Custom] インストールを選択した場合は、手順 8 に進みます。[Complete] を選択した場合は、手順 9 に進みます。

注： [Complete] オプションは、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバに必要な追加プログラムをインストールします。このため、次のように [Custom] オプションを選択して必要なプログラムのみをインストールすることも可能です。

- 8 [Custom Setup] 画面で、インストールする機能とそれらをインストールする方法を選択します。**Server Installer 8.0.2** コンポーネントのインストールは必須です。他の機能のインストールは任意で、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバでは使用されません。

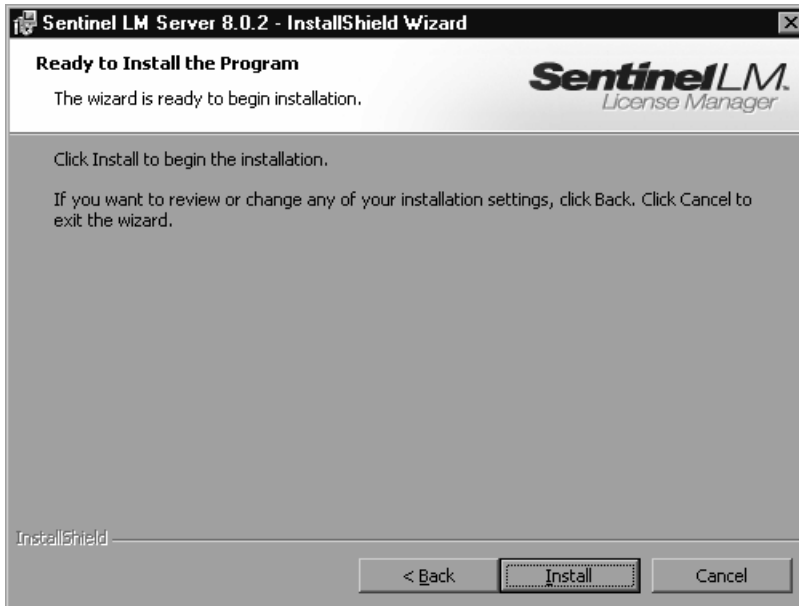


各機能の横にあるドロップダウンの矢印をクリックして、ローカルのハードディスク・ドライブにその機能のみをインストールするか、その機能とすべてのサブ機能をインストールするかを選択します。

[Next] をクリックします。

ヒント：[Space] をクリックすると各機能に必要なディスク容量が表示されます。

9 [Ready to Install the Program] 画面が開きます。



[Install] をクリックします。

- 10 セットアップ・プロセスが始まります。セットアップ・プロセスを中断、または終了するには、[Cancel] をクリックします。
- 11 インストールが完了すると、[InstallShield Wizard Completed] 画面が開きます。[Finish] をクリックしてウィザードを終了し、セットアップ・プロセスを完了します。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたら、QuickTest または WinRunner を使用する前にコンカレント・サーバ・ライセンス・キーを申請し、インストールする必要があります。デモ版のコンカレント・ライセンスはありません。

コンカレント・ライセンス・キーの申請

コンカレント・ライセンス・サーバのインストールが完了したら、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・インストール・プログラムを実行して、Mercury にライセンス・キーを申請する必要があります。コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムは、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたコンピュータで実行する必要があります。

コンカレント・ライセンス・キーを申請するには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバの CD-ROM をインストールに使うドライブに挿入します。CD-ROM ドライブが、ローカル・コンピュータにある場合は、[Mercury 機能テスト・ライセンス・サーバのインストール] ウィンドウが開きます。

ネットワーク・ドライブからインストールする場合は、ネットワーク・ドライブに接続し、**autorun.exe** を実行します。



MERCURY™

機能テスト

コンカレント ライセンス サーバ

コンカレント ライセンスで QuickTest および WinRunner をご使用になる前に次の操作を行ってください。

- ライセンス サーバを、QuickTest と WinRunner がインストールされているすべてのコンピュータからアクセス可能なネットワーク コンピュータにインストールします。
- コンカレント ライセンスを、ライセンス サーバにのみインストールします（他のコンピュータにはインストールしません）。

警告: シート ライセンスを使用する場合は、この CD を使用しないでください。製品とシート ライセンスをインストールするお手持ちの QuickTest または WinRunner の CD を使用してください。

Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバのインストール

機能テスト製品のためのネットワーク ライセンス サーバをインストールします。以前のバージョンのコンカレント ライセンス サーバからアップグレードを行う場合は、インストールを行う前に Sentinel LM サービスを手動で停止してください。

コンカレント ライセンスのインストール

コンカレント ライセンスを Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバにインストールします。

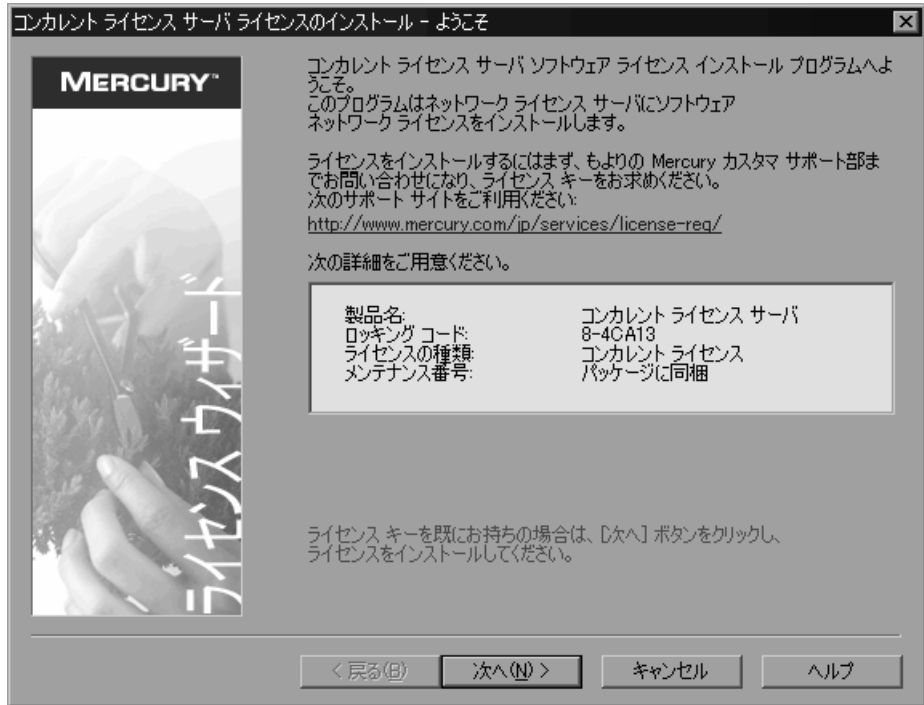
インストール ガイドを開く

Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバ インストール ガイドを Adobe® Portable Document Format (PDF) で開きます。
(Adobe® Reader® の ダウンロード)

終了

2 [コンカレント ライセンスのインストール] をクリックします。

コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムが起動して「ようこそ」画面が開き、お使いのコンピュータのロッキング・コードとライセンス・タイプが表示されます。



- 3 「ようこそ」画面の Web サイトへのリンクを使用して、ロッキング・コード、ライセンスの種類、およびメンテナンス番号を Mercury カスタマー・サポートに送信します。「ようこそ」画面の情報をコピーして、Mercury のカスタマー・サポート Web サイトのライセンス申請フォームまたは電子メール・メッセージに貼り付けることができます。
- 4 ライセンス・キーをすでに持っている場合は、「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」の項の 23 ページの手順 3 に進みます。持っていない場合は、[キャンセル] をクリックし、ライセンス・キーが届くまで待ちます。ライセンス・キーが届いたら、20 ページ「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」の手順を実行します。

コンカレント・ライセンス・キーのインストール

Mercury からライセンス・キーを受け取ったら、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・インストール・プログラムを再度実行してキーを有効にする必要があります。コンカレント・ライセンス・キーは、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたコンピュータにインストールする必要があります。

コンカレント・ライセンス・キーは、リモートからインストールできません（たとえば、Symantec pcAnywhere、Citrix や Terminal Server を使用してのインストール）。

コンカレント・ライセンス・キーをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバの CD-ROM をインストールに使うドライブに挿入します。CD-ROM ドライブが、ローカル・コンピュータにある場合は、[Mercury 機能テスト・ライセンサーライセンス サーバのインストール] ウィンドウが開きます。

ネットワーク・ドライブからインストールする場合は、ネットワーク・ドライブに接続し、**autorun.exe** を実行します。



MERCURY™

機能テスト

コンカレント ライセンス サーバ

コンカレント ライセンスで QuickTest および WinRunner をご使用になる前に次の操作を行ってください。

- ライセンス サーバを、QuickTest と WinRunner がインストールされているすべてのコンピュータからアクセス可能なネットワーク コンピュータにインストールします。
- コンカレント ライセンスを、ライセンス サーバにのみインストールします（他のコンピュータにはインストールしません）。

警告: シート ライセンスを使用する場合は、この CD を使用しないでください。製品とシート ライセンスをインストールするお手持ちの QuickTest または WinRunner の CD を使用してください。

Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバのインストール

機能テスト製品のためのネットワーク ライセンス サーバをインストールします。以前のバージョンのコンカレント ライセンス サーバからアップグレードを行う場合は、インストールを行う前に Sentinel LM サービスを手動で停止してください。

コンカレント ライセンスのインストール

コンカレント ライセンスを Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバにインストールします。

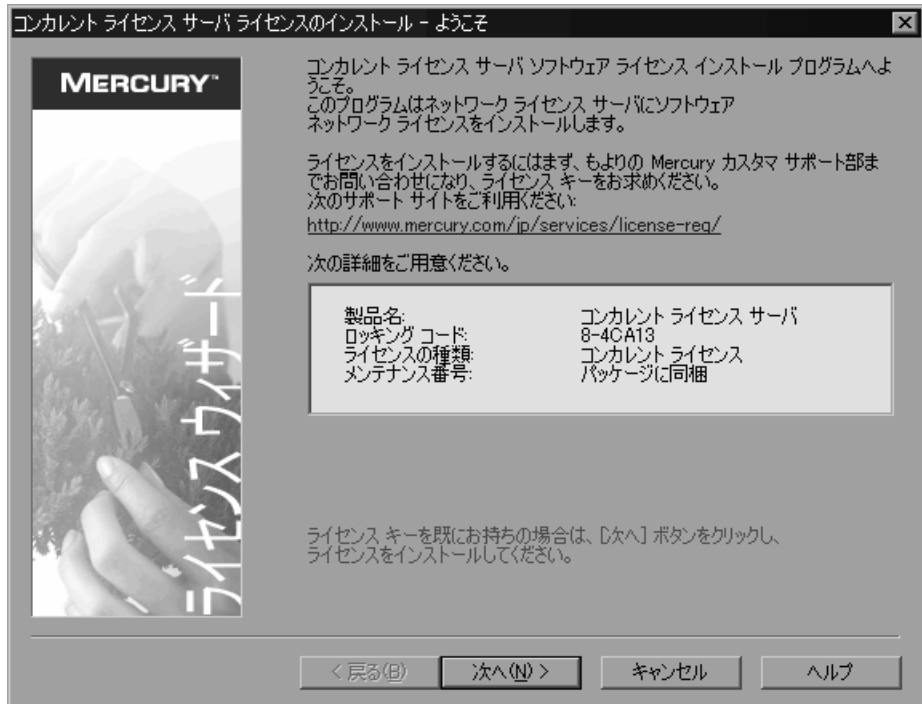
インストール ガイドを開く

Mercury 機能テスト コンカレント ライセンス サーバ インストール ガイドを Adobe® Portable Document Format (PDF) で開きます。
(Adobe® Reader® のダウンロード)

終了

2 [コンカレントライセンスのインストール] をクリックします。

コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムが起動して [ようこそ] 画面が開き、お使いのコンピュータのロッキング・コードとライセンス・タイプが表示されます。



- 3 [次へ] をクリックしてライセンスのインストールを開始します。[ライセンスキー] 画面が開きます。



注：ライセンス・キーは、ライセンス申請時に使用したロッキング・コードを持つコンピュータでのみ有効です。

- 4 Mercury から届いたライセンス・キーを入力します。ライセンス・キーの最後にある # 文字も入力します。



ヒント：ライセンス・キーをクリップボードにコピーした場合は、[クリップボードから貼り付ける] ボタンをクリックしてライセンス・キー・ボックスに貼り付けることができます。

5 [次へ] をクリックします。[インストールのサマリ] 画面が開きます。



6 情報が正しいことを確認し、[次へ] をクリックします。[完了] 画面が開きます。



有効なライセンス・キーを入力すると、[完了] 画面でライセンス・キーが正しくインストールされたことが確認できます。

ライセンスを正しくインストールできなかった場合は、その理由を示すメッセージが表示されます。たとえば、ライセンス・キーを正しく入力しなかった場合、インストールは正常に行われません。ライセンスを正しくインストールできなかった場合は、[サポートに送信] ボタンが表示されます。[サポートに送信] をクリックすると、ライセンス情報が記載された電子メールを作成して、最寄りのカスタマー・サポートに送信できます。カスタマー・サポートによる支援が受けられるように、必ず必須情報を電子メールに記入してください。

ヒント：必要ならば別のライセンスをインストールできます。これには、**[ライセンスをもう 1 つインストールする]** チェック・ボックスを選択し、手順 4 から 6 を繰り返します。

- 7 別のライセンスをインストールしない場合は、**[完了]** をクリックし、ライセンスのインストール処理を完了してウィザードを終了します。
-

注：

ライセンスと Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバの詳細については、Mercury のカスタマー・サポート Web サイトの Knowledge Base を参照してください。

QuickTest Professional で Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを使用している場合は、次の Knowledge Base Problem ID を参照してください：18251, **Top Astra QuickTest/QuickTest Professional Licensing Articles**。

WinRunner で Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを使用している場合は、次の Knowledge Base Problem ID を参照してください：11625, **Top WinRunner Licensing Articles**。

第 3 章

コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒント

本章では、コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒントとトラブルシューティング情報を提供します。また、コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動方法についても説明します。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ 一般的なヒント
- ▶ コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動
- ▶ ロッキング・コード
- ▶ 既知の問題とその解決法

一般的なヒント

QuickTest または WinRunner, あるいはその両方が動作しているクライアント・コンピュータが複数のドメインに分散している場合、ライセンス・サーバを各ドメインにインストールする必要があります。

ライセンス・サーバは Windows NT 4.0 または 2000, XP または 2003 が稼働しているコンピュータにインストールすることをお勧めします。コンピュータには固定 IP アドレスが割り当てられていて、TCP/IP がインストールされている必要があります。

コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動

ライセンス・サーバをリセットする場合は、コンピュータを再起動することをお勧めします。また、次の手順でコンピュータを再起動せずにライセンス・サーバの停止と再起動を行うこともできます。

注：コンカレント・ライセンス・サーバは、ホスト・コンピュータが起動すると自動的に立ち上がります。

Windows 2000, XP または 2003 が稼動しているホスト・コンピュータでライセンス・サーバを停止して再起動するには、次の手順を実行します。

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [管理ツール] をダブルクリックしてから [サービス] をダブルクリックします。[サービス] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3 [サービス (ローカル)] リストで「Sentinel LM」を選択し、[サービスの停止] をクリックします。
- ▶ 4 ライセンス・サーバを再起動するには、「Sentinel LM」を反転表示させ、[サービスの開始] をクリックします。

ヒント：

■▶ ライセンス・サーバを停止して再起動するには、「SentinelLM」を反転表示させ、[サービスの再起動] をクリックします。

また、LSRVDOWN ユーティリティを使用してライセンス・サーバをシャットダウンすることもできます。詳細については、40 ページを参照してください。

Windows NT 4.0 が稼動しているホスト・コンピュータでライセンス・サーバを停止して再起動するには、次の手順を実行します。

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [サービス] をダブルクリックします。[サービス] ダイアログ・ボックスが開きます。

- 3 [サービス (ローカル)] リストで「**Sentinel LM**」を選択し、[サービスの停止] をクリックします。
- 4 ライセンス・サーバを再起動するには、「**Sentine ILM**」を反転表示させ、[開始] をクリックします。

Windows 98 または ME が稼動しているホスト・コンピュータでライセンス・サーバを停止して再起動するには、次の手順を実行します。

- 1 タスクバーで **Sentinel LM** アイコンを右クリックし、ショートカット・メニューで [閉じる] をクリックします。あるいは、[Sentinel LM] 画面で、[ファイル] > [終了] を選択します。
- 2 ライセンス・サーバを再起動するには、コンピュータを再起動します。

ロッキング・コード

ロッキング・コードはライセンス・サーバまたはシート・ライセンス・ホストが生成する番号です。どのコンピュータにもそれぞれ固有のロッキング・コードがあります。ロッキング・コードはメンテナンス番号と組み合わせて、サーバ・コンピュータのライセンス・キーを生成するのに使われます。あるコンピュータのロッキング・コードに基づいて生成されたライセンス・キーを別のコンピュータで使うことはできません。

既知の問題とその解決法

次の表に、既知の問題とその解決法を示します。:

問題	解決法
<p>コンカレント・ライセンス・サーバが QuickTest または WinRunner のクライアントと異なるドメインやサブネットにインストールされている。</p>	<p>ドメイン間で UDP ポート 5093 を開きます。QuickTest または WinRunner のクライアント・コンピュータの LSHOST パラメータまたは LSFORCEHOST パラメータを設定します。詳細については、46 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」を参照してください。</p> <p>接続を確認するには、Windows コマンド・ラインから ping -a を実行します。</p> <p>成功すると、次のように表示されます。</p> <p>Reply from <サーバの IP アドレス> : <バイト数> <時間>。</p>
<p>コンカレント・ライセンス・サーバを Novell または Unix コンピュータにインストールしたい。</p>	<p>コンカレント・ライセンス・サーバのソフトは Novell, Unix のいずれもサポートしていません。QuickTest または WinRunner のクライアント・コンピュータごとにシート・ライセンス・キーを生成してください。あるいは、Windows プラットフォームのネットワーク・コンピュータをコンカレント・ライセンス・サーバとして使ってください。</p>

問題	解決法
<p>コンカレント・ライセンス・サーバにインストールされた正しいライセンス・キーを持っているのに、QuickTest または WinRunner を起動できない。</p>	<p>自動実行画面からではなく setup.exe ファイルを使って QuickTest または WinRunner をインストールすると、QuickTest または WinRunner は自動的にシート・ライセンス・オプションでインストールされます。QuickTest または WinRunner を起動しようとしたときに開くメッセージ・ボックスで、[ライセンスのインストール] をクリックします。License Installation ユーティリティが起動します。これを使ってライセンス・タイプをコンカレント・ライセンス・オプションに変更できます。</p>
<p>日付を操作するテストなどのために、コンカレント・ライセンス・サーバがインストールされているコンピュータの日付を変更した。そのためにコンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・キーがロックされてしまった。</p>	<p>コンピュータの日時を元の値に戻し、MIJ ライセンス・センターにお問い合わせください。</p>

これらの問題に関する情報については、Mercury のカスタマー・サポート Web サイト <http://support.mercury.com/cgi-bin/portal/CSO/kbBrowse.jsp> で QuickTest および／または WinRunner の Knowledge Base を参照してください。

第3章・コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒント

第 4 章

ライセンス・サーバのエラー・コード

本章では、表示される可能性のあるコンカレント・ライセンス・サーバのエラー・メッセージに関する情報を提供します。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ エラー 5：ライセンス・マネージャと通信できません。「LocalHost」サーバが稼動していません。
- ▶ エラー 19：ライセンス・コードをインストールできません。

エラー 5：ライセンス・マネージャと通信できません。 「LocalHost」サーバが稼動していません。

コンカレント・ライセンス・サーバが停止しています。

- ▶ Windows NT をお使いの場合は、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [サービス] を選択します。Sentinel LM サービスを見つけて [開始] をクリックします。
- ▶ Windows 2000, XP, および 2003 では、[スタート] > [プログラム] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。Sentinel LM サービスを見つけて [開始] をクリックします。

ライセンス・サーバが起動しなければ、MIJ のライセンス・センターにお問い合わせください。

エラー 19 : ライセンス・コードをインストールできません。

エラー 19 は次の 2 つの状況で発生します。

- ▶ 「NO-NET」上のライセンス・サーバにライセンス文字列「Unknown」を追加できなかった。

シート・ライセンスを指定されたコンピュータで実行中のコンカレント・ライセンス・サーバにインストールすることはできません。

- ▶ 「Localhost」上のライセンス・サーバにライセンス文字列「UNKNOWN」を追加できなかった。

コンカレント・ライセンスを指定されたコンピュータで実行中のコンカレント・ライセンス・サーバにインストールすることはできません。

エラー 19 が起こる原因

以下の表に、エラー 19 が起こる原因についての一般的な情報を示します。

考えられる原因	考えられる解決策
ライセンス・キーがノード・ロックされており、ライセンス・サーバをインストールしようとしている PC のロック・コードと一致していない。	MIJ のライセンス・センターに連絡して、正しいライセンス・キーを再発行してもらいます。
シート・ライセンスをインストールしようとするときに、ライセンス・キーがコンカレント・ライセンス用のものになる。	Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM の %utils から Isdecode.exe を Program Files¥Common Files¥Mercury Interactive¥License Manager にコピーし、この Isdecode.exe ファイルを実行します。ライセンス・キー情報が表示され、正しいライセンス・タイプをインストールしようとしているかどうかを確認できます。

考えられる原因	考えられる解決策
ライセンス・キーの入力に誤りがあった。	Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM の ¥utils から Isdecode.exe を Program Files¥Common Files¥Mercury Interactive¥License Manager にコピーし、この Isdecode.exe ファイルを実行します。ライセンス・キー情報が表示され、正しいライセンス・タイプをインストールしようとしているかどうかを確認できます。

考えられる原因	考えられる解決策
<p>ライセンス・キーがすでにインストールされている。</p>	<p>lservrc ファイルが存在するかどうか確認します。ファイルの場所は、QuickTest が現在インストールされているかどうかに応じて異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> QuickTest がインストールされている場合、ファイルの場所は lservrc 環境変数によって指定されます。 <p>ヒント：lservrc 環境変数のパスを確認するには、[マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブを選択して、[環境変数] をクリックします。パスは、[環境変数] ウィンドウの [ユーザー環境変数] / [システム環境変数] ボックスにパスが表示されます。たとえば、 C:\Program Files\Common Files\Mercury Interactive\License Manager\lservrc。</p> <ul style="list-style-type: none"> QuickTest がインストールされていない場合、lservnt.exe と同じフォルダにファイルがあります。標準設定では、C:\Program Files\Common Files\SafeNet Sentinel\Sentinel LM Server\WinNT\lservnt.exe です。 <p>ヒント：lservnt.exe のパスを調べるには、クラシック表示の場合は [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択し、カテゴリ表示の場合は [スタート] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスで「Sentinel LM」を右クリックし、[プロパティ] を選択します。lservnt.exe のパスは、[実行ファイルのパス] ボックスに表示されます。</p> <p>lservrc ファイルが存在すれば、ライセンス・キーはすでにインストールされています。ライセンス・サーバを使用することもできます。</p>

第 5 章

コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ

本章では、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバに含まれるユーティリティの概要について説明します。これらのユーティリティは、QuickTest Professional および WinRunner のコンカレント・ライセンスの管理を支援します。これらのユーティリティは、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバとともに提供される Sentinel ライセンス・マネージャの一部です。

この章で説明するユーティリティの詳細については、**Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM の SysAdmin Help** フォルダ内にある『**Sentinel LM System Administrator's Help**』を参照してください (**index.html** ファイルを開いて、ヘルプにアクセスします)。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ 概要
- ▶ 現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示
- ▶ ライセンス・サーバの表示
- ▶ ライセンス・サーバの監視
- ▶ LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定

概要

WLMADMIN ユーティリティを使って、コンカレント・ライセンス・サーバを監視できます。また、そのほかの Mercury 機能テスト・サーバ管理ユーティリティを使えば、お使いのコンカレント・ライセンス・サーバの特定要素の確認と管理ができます。

Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ用インストール CD-ROM の **Utils** フォルダの中の **SrvUtils.exe** を実行すると、Windows のユーザ・インタフェースから Mercury 機能テスト・サーバ管理ユーティリティを開始できます。



[サーバユーティリティ ツール] が開いたら、実行するユーティリティを選択して、**[実行]** をクリックします。

次の表に、Mercury 機能テスト・ライセンス管理ユーティリティの簡単な説明と、使いやすくするために簡単な使用例を示します。

ユーティリティ	説明 / 使用例
ECHOID ユーティリティ echoid.exe	コンピュータのロックング・コードを生成します。お使いのマシンから、特定のコンピュータのライセンス・キー生成に使う情報 (ロックング・コード) を取得します。

ユーティリティ	説明 / 使用例
IPXECHO ユーティリティ ipxecho.exe	コンピュータが動作しているネットワークの IPX アドレスを表示します。ライセンス・サーバの IPX アドレスを調べるのに使用します。
LSDECODE ユーティリティ lsdecode.exe	ライセンス・キー情報が表示され、正しいライセンス・タイプをインストールしようとしているかどうかを確認できます。 Mercury 機能テストのコンカレント・ライセンス・キー (lservrc) をデコードし、ライセンス・タイプやコンカレント・ユーザ数の上限などのライセンス情報を取得します。 サーバ・ユーティリティのアプリケーション (SrvUtils.exe) と LSDECODE ユーティリティ (lsdecode.exe) が lservrc ファイルと同じディレクトリにあることを確認します。
LSLIC ユーティリティ lslic.exe	ライセンス・キーを追加または削除します。次のコマンド行オプションを使うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● -a (追加) -f (ファイル名) : ライセンス・ファイルからライセンス・キーを追加 ● -removeall は Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバからすべてのライセンスを削除 LSHOST 環境変数を使ってライセンス・サーバを指定するか、サーバ・ユーティリティのアプリケーション (SrvUtils.exe) と LSLIC ユーティリティ (lslic.exe) が lservrc ファイルと同じディレクトリにあることを確認します。
LSMON ユーティリティ lsmon.exe	Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ・コンピュータを監視します。 LSMON ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (ライセンス・サーバ) で実行できます。 リモートの Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを監視するには、<ホスト名>または<IP アドレス>を指定します。たとえば、c : \lsmon.exe saturn は saturn ホストを監視します。詳細については、43 ページ「現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示」を参照してください。

ユーティリティ	説明 / 使用例
LSRVDOWN ユーティリティ lsrvdn.exe	ライセンス・サーバをシャットダウンします。 このユーティリティのコマンド行オプションとして、ライセンス・サーバのホスト名を指定します。 また、サービスを停止することでライセンス・サーバをシャットダウンすることもできます。詳細については、28 ページ「コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動」を参照してください。
LSUSAGE ユーティリティ lsusage.exe	ライセンス・サーバが生成する、使用情報が表示されます。ライセンス・サーバは発行されたものも拒否されたものも、すべてのライセンス・キーのログを記録しますが、ライセンス・キーの更新は記録しません。 例：lsusage.exe -l Usage-log-file <ul style="list-style-type: none"> • [-c CSV-Format-New-log-file] • [-f Feature-Name1,Version:Feature-Name2,Version ...] • [-y Start-Year(YYYY) [-m Start-Month(MM) [-a Start-Day(DD)]]] • [-Y End-Year(YYYY) [-M End-Month(MM)] [-A End-Day(DD)]]]
LSWHERE ユーティリティ lswhere.exe	ネットワーク上で Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを探し、ライセンス・サーバを実行しているすべてのコンピュータの名前を表示します。このユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (ライセンス・サーバ) で実行できます。 < IP アドレス > パラメータは特定のネットワーク・ホストを探します。 詳細については、43 ページ「ライセンス・サーバの表示」を参照してください。
SLMDemo ユーティリティ slmdemo.exe	ライセンスを使用するシミュレーションを実行します。このユーティリティは、ライセンスを特定のサーバに「追加」、または特定のサーバから「削除」でき、ログ・ファイルを作ることができます。このユーティリティを使って、ライセンス・キーがライセンス・サーバ・ホストに正しくインストールされ、コンカレント・ライセンスの数が正しいかどうかを確認できます。

ユーティリティ	説明 / 使用例
WLMADMIN ユーティリティ WLMAdmin.exe	Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのトランザクションを監視し、ライセンス・サーバ、ユーザの情報のほか、コンカレント・ライセンス・サーバを使って QuickTest または WinRunner を実行しているコンピュータに関する情報を提供します。このユーティリティを使って、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバが動作していることを確認し、その使用状況を監視することができます。詳細については、44 ページ「ライセンス・サーバの監視」を参照してください。
WLSGRMGR ユーティリティ Wlsgrmgr.exe	特定のネットワーク・ユーザまたはコンピュータのライセンス・トークンを保持する予約ファイルの簡単な作成方法を提供したり、特定のユーザまたはコンピュータによるライセンス・トークンの使用を排除したりします。
WCommute.exe	コンカレント・ライセンス・ユーザが、ローカル・コンピュータまたはリモート・コンピュータで QuickTest または WinRunner のコンピュータ・ライセンスをチェック・アウトおよびチェック・インできるようにします。コンピュータ・ライセンスを使用すれば、ネットワークから一時的に切断されているコンピュータでコンカレント・ライセンス・ユーザが QuickTest または WinRunner を一時的に使用できるようになります。詳細については、『QuickTest Professional インストール・ガイド』または『WinRunner インストール・ガイド』を参照してください。 このユーティリティはコマンド・ラインでのみ有効化できます。[Server Utilities Tool] ウィンドウでは有効化できません。
WCommute.exe	QuickTest または WinRunner のコンピュータ・ライセンスを取得およびインストールするのに使用できる、リモート・コンピュータのロッキング・コードをコンカレント・ライセンス・ユーザが生成できるようになります。詳細については、『QuickTest Professional インストール・ガイド』または『WinRunner インストール・ガイド』を参照してください。 このユーティリティはコマンド・ラインでのみ有効化できます。[Server Utilities Tool] ウィンドウでは有効化できません。

次の表では、使用できるコンカレント・ライセンス・サーバを指定または制御するために QuickTest または WinRunner クライアント・コンピュータで使用されている変数について説明します。

変数	説明 / 使用例
LSFORCEHOST 変数	QuickTest または WinRunner クライアントを特定のコンカレント・ライセンス・サーバに限定します (ホスト名あるいは IP アドレスでライセンス・サーバを指定できます)。この変数の設定の詳細については、46 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」を参照してください。
LSHOST 変数	QuickTest または WinRunner クライアントにおいて優先するコンカレント・ライセンス・サーバを指定します。指定されたコンカレント・ライセンス・サーバが見つからない場合は、ネットワーク全体が検索されます。リモート・サブネットにあるサーバに接続するには、この変数を使います。この変数の設定の詳細については、46 ページ「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」を参照してください。

現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示

LSMON ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。

LSMON ユーティリティは DOS ベースのプログラムで、次のものを表示します。

- ▶ QuickTest または WinRunner のコンカレント・ユーザの上限
- ▶ 現在コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているコンピュータの数
- ▶ 現在コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているコンピュータの ID
- ▶ 現在使用されていないライセンスの数

注：クライアント・コンピュータから LSMON ユーティリティを実行してネットワーク上のすべてのコンピュータの情報を表示するには、LSMON <ライセンス・サーバのホスト名>を入力します。

ライセンス・サーバの表示

LSWHERE ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。これは Windows ベースのプログラムで、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを実行しているすべてのコンピュータのネットワーク名を表示します。

ライセンス・サーバの監視

WLMADMIN ユーティリティは、(QuickTest または WinRunner を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。このユーティリティは、サーバに接続している各 Mercury 製品によるライセンス・サーバ・トランザクションの監視を可能にし、ライセンス・サーバ、ユーザの情報のほか、コンカレント・ライセンスを使って Mercury 製品を実行しているコンピュータに関する情報を提供します。このユーティリティを使って、ライセンス・サーバの動作を監視できます。

The screenshot shows the WlmAdmin application window. The left pane displays a tree view of servers under 'Subnet Servers' for 'cargo.mercury.com'. The 'QuickTestPro 6.0' server is selected, showing users: ed, neil, mary, dan, tim, and tom. The main pane is divided into three sections:

- Server Information:** Name: cargo.mercury.com, Version: 7.3.0.0, IP address: 999.999.99.999
- Feature Information:** Name: QuickTestPro, Version: 6.0
- Statistics:**

	In use:	Total:	Queued:
Total users:	1	3	0
Reserved:	0	0	
Commuter:	0	0	
Capacity:	0	0	
- Detailed Information:** License Info tab is active. License type: Normal license, Start date: Sat Jun 01 01:00:00 2002, Allow commuter license: No, End date: License has no expiration.

At the bottom, there is a 'Criteria' table:

Criteria	Value
Additive license	No
Check time tamper	No
Grace allowed	No
Hold time	0 secs
Holding criteria	Vendor specified
Key lifetime	900 secs
Log encryption level	1
Majority rule	No

上の例では、QuickTest と WinRunner が同じコンカレント・ライセンス・サーバを共有していることに注意してください。

注：[Feature name]（ライセンス）は、最初にサポートしたバージョンを示します。たとえば、**QuickTestPro 6.0** は QuickTest Professional のバージョン 6.0 以降をサポートしており、**WR-core 7** は WinRunner 7.0 以降をサポートしています。

ライセンス・サーバによる発行ライセンス・タイプの決定方法について

ユーザが、コンカレント・ライセンスで動作するように設定されている QuickTest または WinRunner クライアントを開くと、クライアントはコンカレント・ライセンス・サーバにライセンス要求を送信します。たとえば、**FT-Unified 1.0**、**QuickTestPro 6.0**、および **WR-core 7** のように、コンカレント・ライセンス・サーバに使用可能な複数のライセンスがある場合は、機能テスト・ツールがプログラム・ロジックを適用し、このセッションに必要なライセンス・タイプを決定します。ライセンス・タイプは、**QuickTestPro 6.0** や **WR-core 7** のように製品固有のものもあれば、**FT-Unified 1.0** のように QuickTest と WinRunner の両方にグローバルに適用するものもあります。

QuickTest または WinRunner クライアントは、コンカレント・ライセンス・サーバに初めて要求を送信したときに、製品固有のライセンスを要求します。製品固有のライセンスが使用可能な場合は、コンカレント・ライセンス・サーバがライセンスを発行します。製品固有のライセンスが使用不可能な場合は、機能テスト・ツールがグローバル・ライセンスを要求します。使用可能なライセンスが無い場合は、機能テスト・ツールによってすべてのライセンスが使用中であるというメッセージが表示されます。

以降のセッションでは、機能テスト・ツールは、常に前回のセッションで発行されたのと同じライセンス・タイプを要求します。要求されたライセンス・タイプが使用不可能な場合は、機能テスト・ツールは代替りのライセンス・タイプを要求します。

たとえば、QuickTest クライアントが最後に接続されたのが、**QuickTestPro 6.0** ライセンスを発行したライセンス・サーバであった場合、QuickTest クライアントは同じライセンス・タイプを再び要求します。使用可能な **QuickTestPro 6.0** ライセンスが無い場合は、**FT-Unified 1.0** ライセンスを要求します。

同様に、WinRunner クライアントが最後に接続されたのが、**FT-Unified** ライセンスを発行したライセンス・サーバであった場合、WinRunner クライアントは同じライセンス・タイプを再び要求します。使用可能な **FT-Unified 1.0** ライセンスが無い場合は、**WR-core 7** ライセンスを要求します。

LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定

ライセンス・ウィザードを使用して QuickTest または WinRunner の接続先となるコンカレント・ライセンス・サーバを指定する以外に、Windows の環境変数を使用してコンカレント・ライセンス・サーバを指定することもできます。たとえば、LSHOST 変数を使用して、QuickTest クライアントの接続先にしたいコンカレント・ライセンス・サーバを設定できます。指定したコンカレント・サーバがローカル・サブネットに見つからない場合は、ネットワーク全体が検索されます。あるいは、LSFORCEHOST 変数を使用して、QuickTest または WinRunner を特定のコンカレント・ライセンス・サーバに限定することもできます。LSFORCEHOST 変数は、QuickTest または WinRunner クライアントを特定のコンカレント・ライセンス・サーバに限定します。LSHOST 変数および LSFORCEHOST 変数については、42 ページで説明しています。

Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバが QuickTest または WinRunner のクライアントとは異なるドメインまたはサブネットにインストールされている場合は、30 ページ「既知の問題とその解決法」の指示に従って、LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数を設定する必要があることがあります。

注：ライセンス・ウィザードを使用してコンカレント・ライセンスをインストールした場合は、LSHOST ユーザ変数が、指定したコンカレント・ライセンス・サーバにすでに定義されています。

LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 [環境変数] ダイアログ・ボックスを開きます（クラシック表示の場合は、[スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [システム] を選択します。カテゴリ表示の場合は、[スタート] > [コントロール パネル] > [システム] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブをクリックします。続いて [環境変数] ボタンをクリックします。[環境変数] ダイアログ・ボックスが開きます）。



注：すでに LSHOST システム変数または LSFORCEHOST システム変数を使用してコンカレント・ライセンス・サーバが定義されている場合は、ユーザ変数を使用して定義する必要はありません。

- 2 [＜ユーザ名＞のユーザ環境変数] の下にある [新規] をクリックします。
[新しいユーザー変数] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3 [変数名] ボックスに、LSHOST または LSFORCEHOST と入力します。
- 4 [変数値] ボックスに、コンカレント・ライセンス・サーバの正式名称を入力します。または、ホスト・コンピュータの IP アドレスを入力しても構いません。

注：

LSHOST および LSHOSTFORCE の環境変数は 64 文字に制限されています。

ホスト名が複数ある（たとえば 1 つのネットワーク上で複数の Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバを運用している）場合には、セミコロン (;) を使って [値] ボックスの中のホスト名または IP アドレスの間を区切ります。

- 5 [OK] をクリックして、[新しいユーザー変数] ダイアログ・ボックスを閉じます。
- 6 [OK] をクリックして、[環境変数] ダイアログ・ボックスを閉じます。
- 7 [OK] をクリックして [システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスを閉じます。

第 6 章

コンカレント・ライセンス・サーバのアンインストール

コンカレント・ライセンス・サーバは、必要であればアンインストールできます。

コンカレント・ライセンス・サーバをアンインストールすると、このサーバからコンカレント・ライセンスを使用しているコンピュータは、QuickTest と WinRunner クライアントを実行できなくなります。QuickTest または WinRunner クライアントを実行するには、QuickTest または WinRunner コンピュータにそれぞれシート・ライセンスをインストールするか、別のコンカレント・ライセンス・サーバにアクセスするようにコンピュータを設定する必要があります。コンカレント・ライセンスのシート・ライセンスへの変更に関する詳細については、『QuickTest Professional インストール・ガイド』または『WinRunner インストール・ガイド』を参照してください。

ライセンス・サーバを別のコンピュータに再インストールするためにアンインストールする場合は、MIJ のライセンス・センターに連絡して、サーバをインストールするコンピュータのロッキング・コードに対応する新しいライセンス・キーを取得します。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 **Iservrc** ファイルのバックアップを保存します。**Iservrc** ファイルの場所は、QuickTest が現在インストールされているかどうかに応じて異なります。
 - ▶ QuickTest がインストールされている場合、ファイルの場所は **Iservrc** 環境変数によって指定されます。

ヒント：**Iservrc** 環境変数のパスを確認するには、[マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブを選択して、[環境変数] をクリックします。[環境変数] ウィンドウの [<ユーザ名> のユーザー環境変数] / [システム環境変数] ボックスにパスが表示されます。たとえば、C:\Program Files\Common Files\Mercury Interactive\License Manager\Iservrc。

- ▶ QuickTest がインストールされていない場合、ファイルは **Iservnt.exe** と同じフォルダにあります。標準設定では、C:\Program Files\Common Files\SafeNet Sentinel\Sentinel LM Server\WinNT\Iservnt.exe です。
-

ヒント：**Iservnt.exe** の場所を確認するには、クラシック表示の場合は [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択し、カテゴリ表示の場合は [スタート] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスで「Sentinel LM」を右クリックし、[プロパティ] を選択します。**Iservnt.exe** のパスは、[実行ファイルのパス] ボックスに表示されます。

- 2 クラシック表示の場合は、[スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [プログラムの追加と削除] を選択します。カテゴリ表示の場合は、[スタート] > [コントロール パネル] > [プログラムの追加と削除] を選択します。
[プログラムの追加と削除] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3 **Sentinel LM Server 8.x.x** を選択して、[削除] をクリックします。
- 4 表示された指示に従います。

注： インストールに使用した Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバ CD-ROM を使用してコンカレント・ライセンス・サーバをアンインストールすることもできます。CD-ROM は他のバージョンのライセンス・サーバには使用しないでください。予想外の行動を引き起こす可能性があります。
